

K l a r k Y o s h i d a の校長室だより～2018（11）～
～クリスマス施設訪問～

静岡英和女学院中学校・高等学校
校 長 吉 田 幸 一



毎年、クリスマス礼拝前のこの時期は、生徒たちによる近隣の施設訪問を実施しています。介護施設やケアハウスに入所あるいはデー・サービスで来所している方々と、クリスマスにちなんだ讃美歌と一緒に歌い、折り紙やゲームを楽しみ、絵本の朗読の機会をとおして、ふれあいのひと時をもっています。

毎朝の礼拝を欠かしたことにない生徒たちにとって、聖書の御教えや御言葉を体験する良き機会となっています。施設訪問により、隣人愛や他者への思いやりの気持ちなどが自然に醸成されていきます。

私も、生徒たちと一緒にある社会福祉法人に伺いました。壁には次のような張り紙がありました。

年をとるって どんなこと？

1. 年を取るって どんなこと？ 忘れっぽいと いうけれど
 いっぱい詰まった 知恵の箱から 出すのに ちょっと迷うだけ
2. 年を取るって どんなこと？ 耳は遠いし 目も悪い
 あらゆる物を キャッチして 私を育てた 疲れです
3. 年を取るって どんなこと？ 腰が曲がるというけれど
 お世話になった 人々に 感謝 感謝の 姿です!!

私はこの張り紙の言葉が良くわかります。特に、年をとることで腰も曲がりがちになります。その姿は、お世話になった人への感謝の姿という言葉は心に響きました。生徒たちもこれら琴線にふれる言葉を受け入れながら、愛と奉仕を实践してほしいと思います。

知恵の源である神様によって建学された静岡英和女学院は、クリスマス施設訪問により、今まで以上に、清く、正しく、聖書に誠実に向き合う生活を送ってほしいと思います。12月22日は学校クリスマス礼拝となります。生徒、保護者、教職員とともに、イエス様の御降誕をお祝いしましょう。